

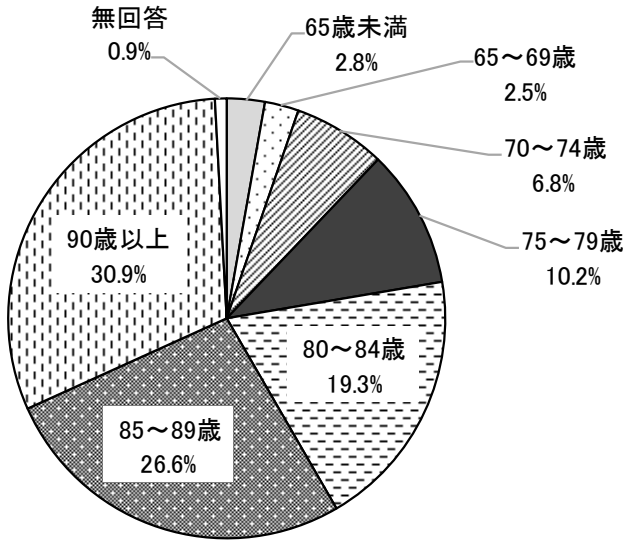
令和5年度 宮崎市在宅介護実態調査 結果概要

○調査期間：令和5年4月28日～5月22日

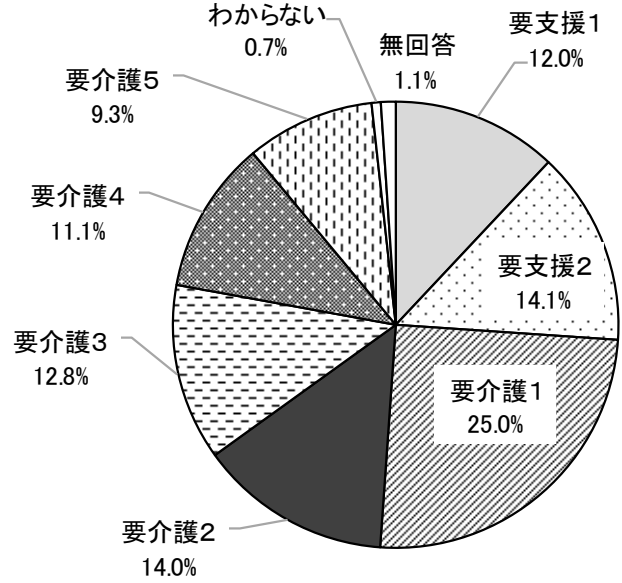
○調査対象者：宮崎市在住で要介護認定を受けている2,000人（回収数1,039、回答率52.0%）

○調査方法：郵送方式

①本人（介護を受けている者）の年代

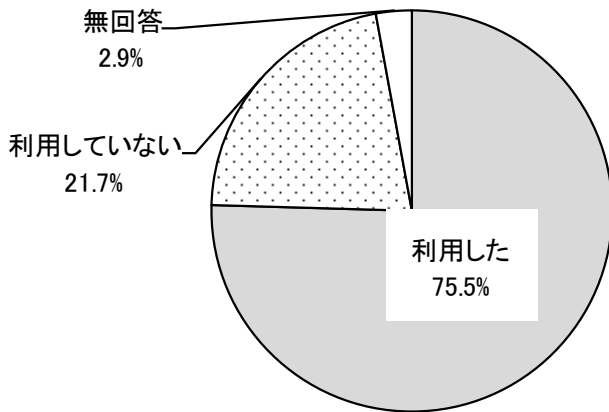


②本人（介護を受けている者）の要介護度

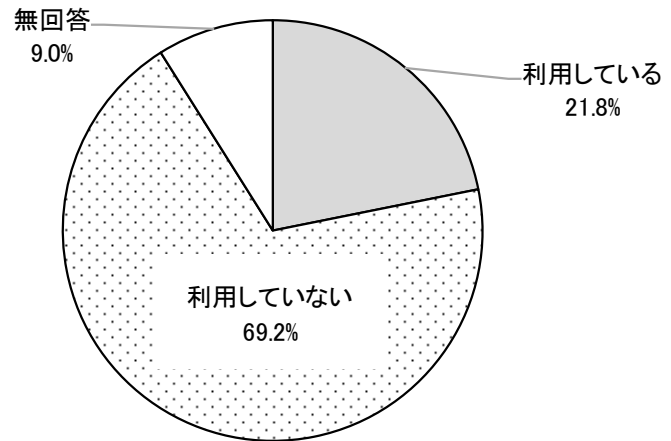


③介護保険サービス等の利用状況

75.5%の方が令和5年4月中に介護保険サービスを利用していました。

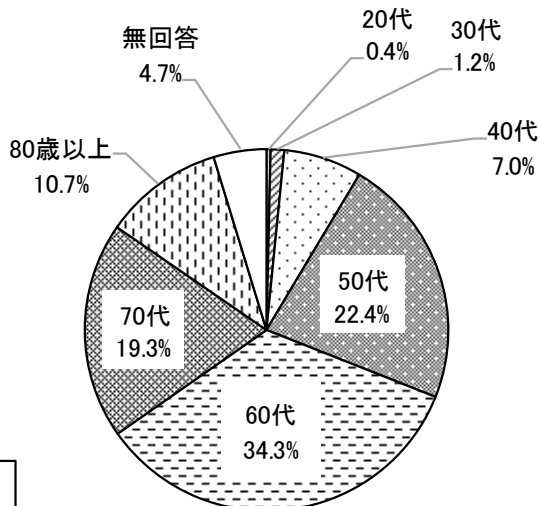


訪問診療を利用している方は、21.8%となりました。

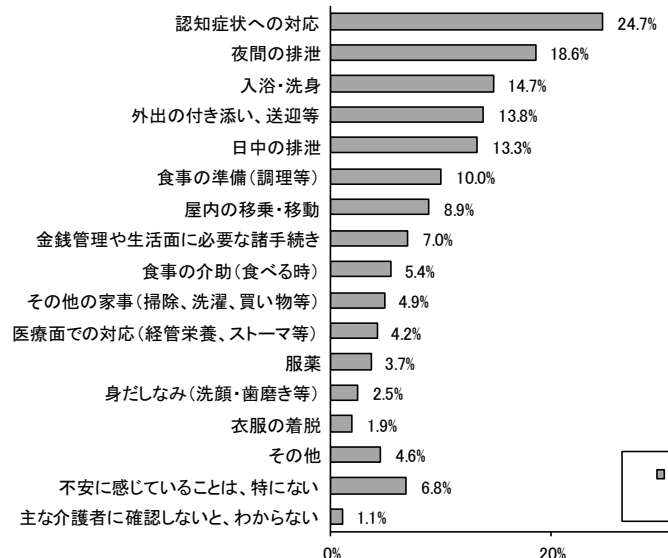


④家族・親族の介護について

家族・親族の介護者の年齢は、60代が一番多く、次いで50代、70代となりました。



家族・親族の介護者が、現在の生活を継続していくにあたって、不安を感じる介護等について、「認知症状への対応」が最も高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」などが続いています。



構成比
(n=571)

構成比
(n=571)